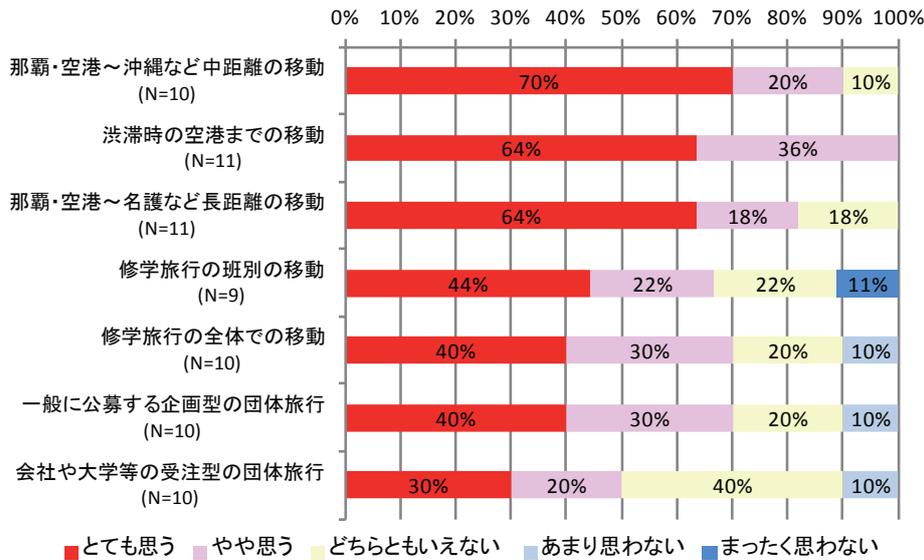


3-3.団体旅行での鉄軌道の利用可能性と利用条件

団体旅行では、中長距離の移動において利用可能性が高く、利用にあたっては団体割引運賃や、駅での乗り継ぎ施設の整備が求められています。

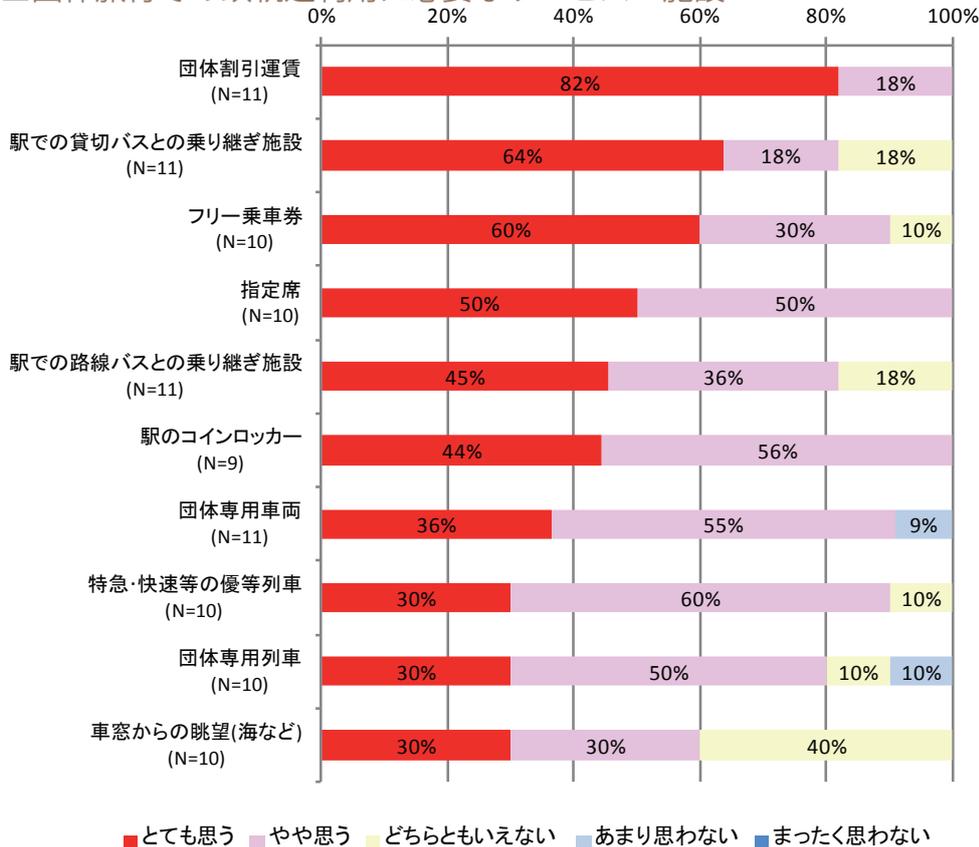
- 団体旅行では「那覇・空港～沖縄・名護などの中長距離の移動」、「渋滞時の空港までの移動」で利用の可能性が高いと回答している旅行会社が多くなっています。
- 団体旅行で求められるサービスとして「団体割引運賃」、「駅での貸切バスとの乗り継ぎ施設」へのニーズが高くなっています。

■ 団体旅行における鉄軌道の利用可能性



■ 団体旅行での鉄軌道利用に必要なサービス・施設

資料：旅行関係業者調査



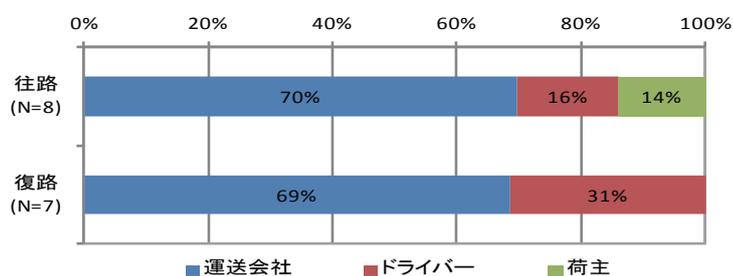
資料：旅行関係業者調査

3-4.貨物輸送での鉄軌道等の利用可能性と利用条件

貨物輸送で鉄軌道を利用するには、那覇港までのアクセスが確保されていることが重要な条件となります。

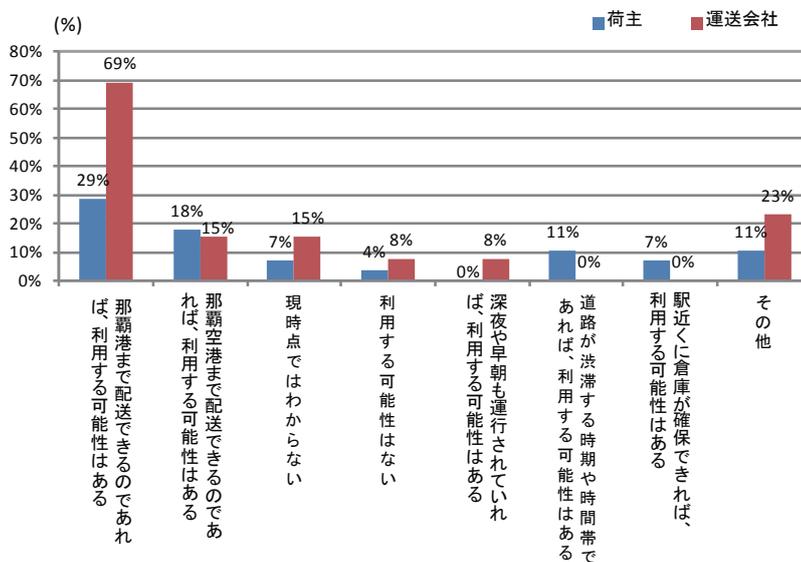
- 現状の貨物輸送の移動経路は、往路・復路ともに運送会社が決定しているところが多くなっています。
- 鉄軌道の貨物での利用可能性は、荷主、運送会社ともに「那覇港まで配送できるのであれば、利用する可能性はある」が最も高く、その他では「那覇空港まで配送できるのであれば、利用する可能性はある」が多くなっています。
- 観光客の手荷物等の輸送については「空港又は宿泊先まで運んでくれるのであれば利用する可能性はある」との回答が最も多く、50%の旅行会社が利用する可能性を示しています。

■運送業務における移動経路の決定状況



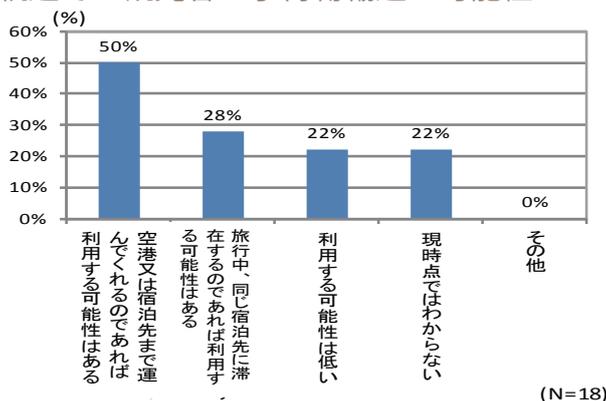
資料：企業調査

■鉄軌道の貨物での利用可能性



資料：企業調査

■鉄軌道での観光客の手荷物輸送の可能性



資料：企業調査

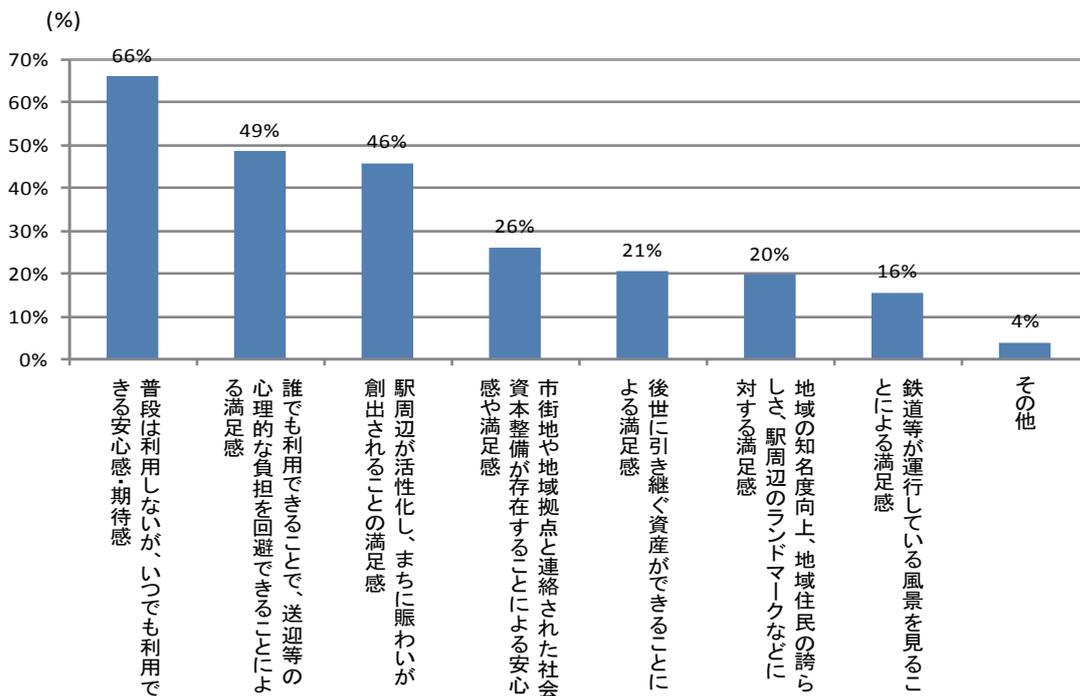
4.鉄軌道の効果と連携方策

4-1.住民の日常生活

鉄軌道があることによる安心感、送迎等の心理的負担が回避できる満足感、行動範囲の拡大、高齢者の移動支援等が効果として期待されています。

- 住民の鉄軌道に対する効果として「普段は利用しないが、いつでも利用できる安心感・期待感」、「駅周辺が活性化し、まちに賑わいが創出されることの満足感」などに対する期待が大きくなっています。
- 自由回答では「北部や南部に気軽に行き来できる」など行動範囲が広がるといった意見や「高齢化すると車で移動できなくなる」といった交通弱者の移動支援などの意見があげられています。

■鉄軌道整備への期待



資料：県民調査

【行動範囲の拡大】

- 北部、南部へ気軽に行き来できる。
- 観光旅行者、県民にとっても、遠距離にある山や海も利用できる。

【交通弱者の移動支援】

- 高齢化すると車で移動できなくなる。
- レンタカーが利用できない観光客の為になる。

【環境保全・健康促進】

- 車を利用しないことによる排出ガスの削減、地球温暖化ストップへの効果。
- 自動車（レンタカー、バイク）をへらす事により、安心・安全でクリーンな街づくりと徒歩や自転車による健康づくりを促進する期待感。

【その他】

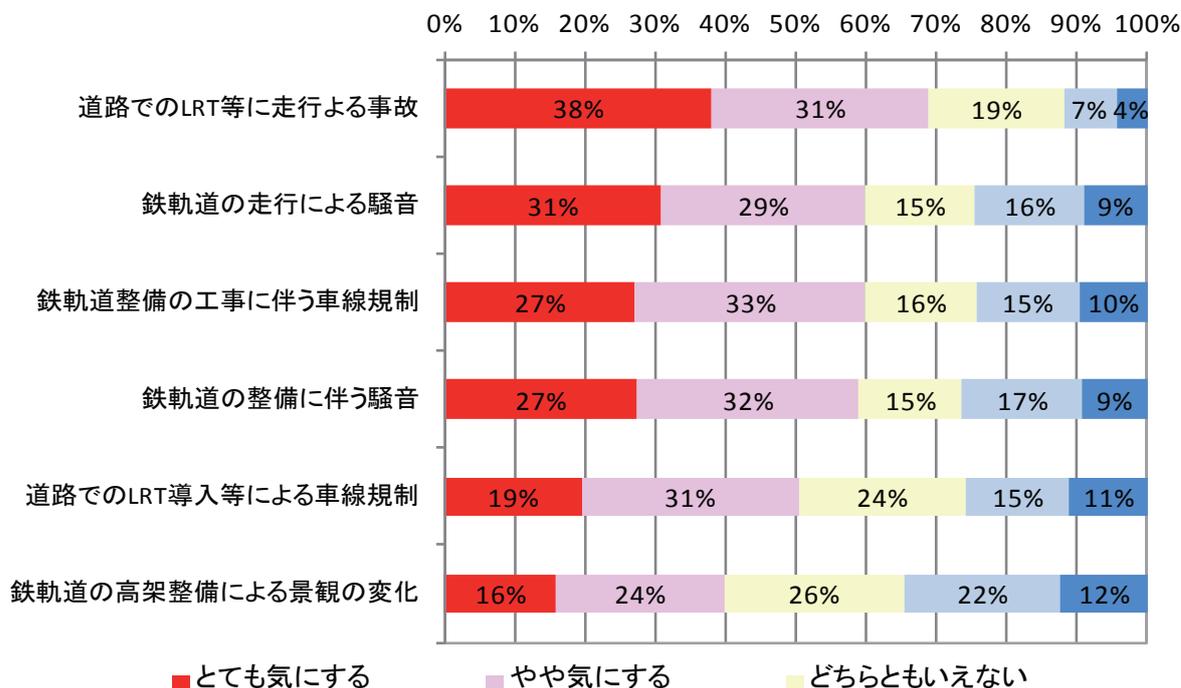
- 飲酒運転が減る。
- 北部地域の過疎化を抑えられる期待。

資料：県民調査

鉄軌道の整備・導入にあたっては、道路でのLRT等の走行による事故などを気にかける方が多くなっています。

- 鉄軌道導入による効果が期待される一方で、鉄軌道の整備・導入にあたり、「道路でのLRT等の走行による事故」に対して38%の住民が「とても気にする」、31%の方が「やや気にする」とあわせて69%の方が気にすると回答しています。
- その他では「鉄軌道の走行による騒音」、「鉄軌道整備の工事に伴う車線規制」、「鉄軌道の整備に伴う騒音」、「道路でのLRT導入等による車線規制」に対して、半数以上の方が「とても気にする」または「やや気にする」と回答しています。

■鉄軌道の整備・導入にあたって気になる点



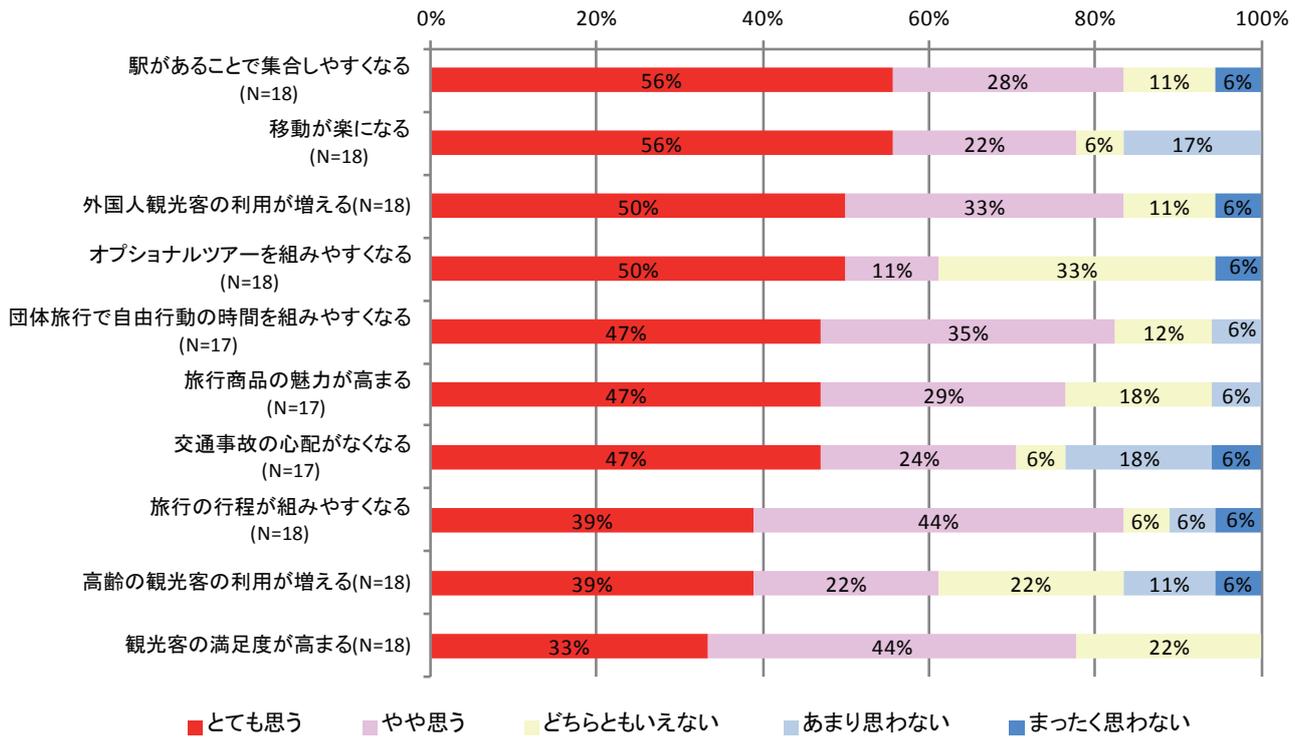
資料：県民調査

4-2.観光

観光面では、駅があることでの集合のしやすさ、移動のしやすさ、外国人観光客の増加などが効果として期待されています。

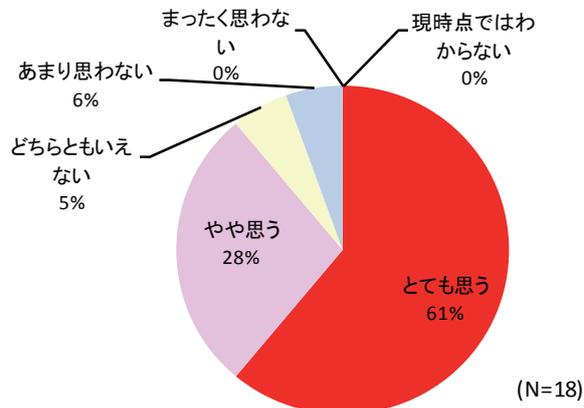
- 観光においては「駅があることで集合しやすくなる」、「移動が楽になる」、「外国人観光客の利用が増える」などが期待されるメリットとして多くあげられています。
- 鉄軌道を活用した旅行商品開発可能性として、航空機・宿泊・鉄軌道利用がセットになったパッケージ商品については、89%の旅行会社が可能性があると回答しています。

■個人及び団体旅行で鉄軌道を利用するメリット



資料：旅行関係業者調査

■航空機・宿泊・鉄軌道利用のパッケージ旅行商品の開発可能性



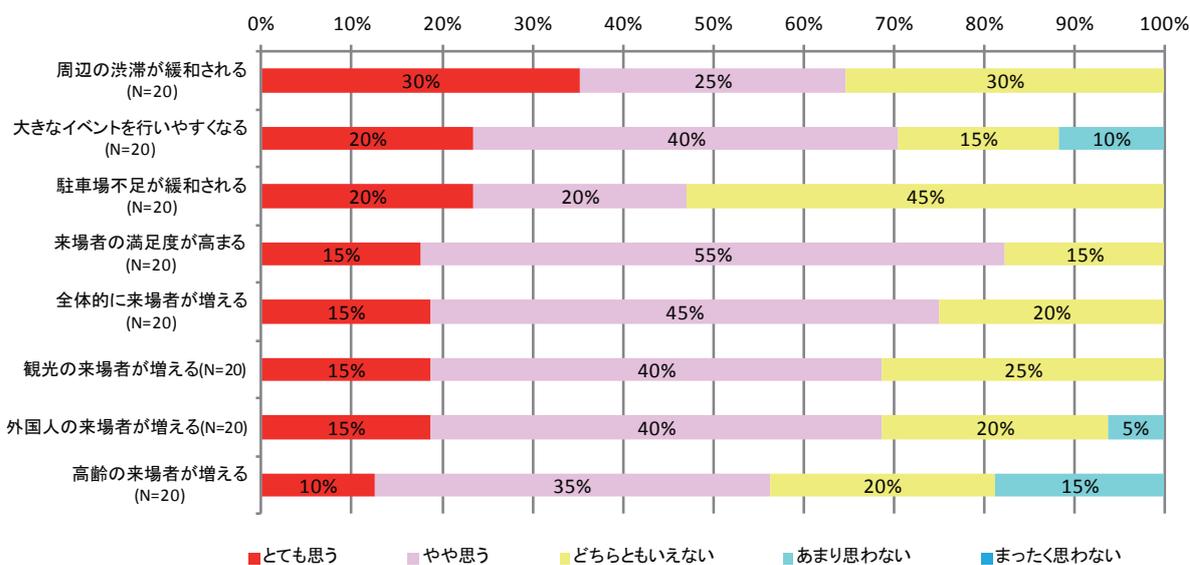
資料：旅行関係業者調査

4-3.企業活動

集客施設においては、周辺の渋滞緩和、イベントの行いやすさの向上、運送業においては、定時性の向上などが効果として期待されています。

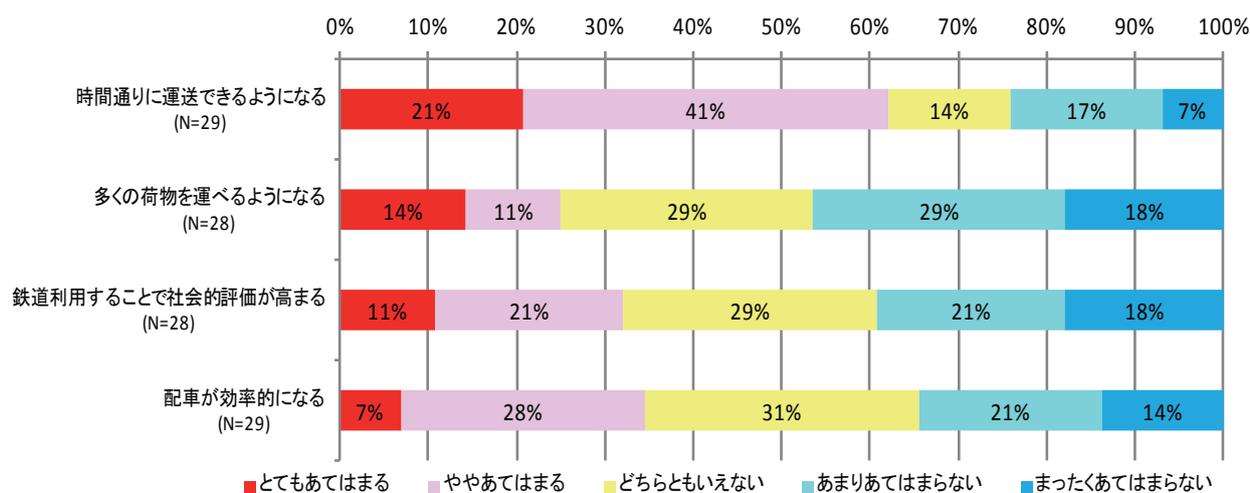
- 集客施設においては「周辺の渋滞が緩和される」、「来場者の満足度が高まる」、「全体的に来場者が増える」などが期待されるメリットとして多く指摘されています。
- 貨物輸送については「時間通りに運送できるようになる」といった意見が6割を超えていますが、その他のメリットを指摘する意見は少なくなっています。

■鉄軌道が整備された場合の集客施設におけるメリット



資料：企業調査

■鉄軌道が整備された場合の運送業におけるメリット



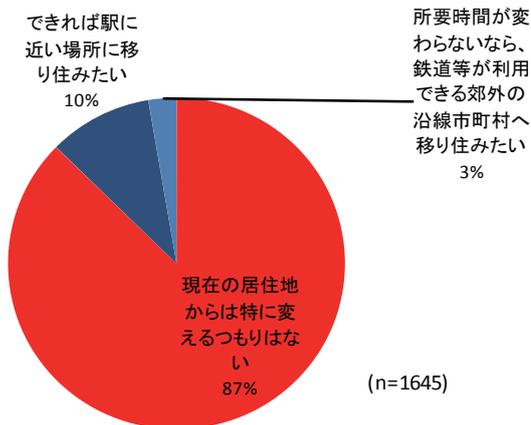
資料：企業調査

4-4.地域

鉄軌道沿線への移転意向は低いですが、定時性・利便性の向上により高齢者や観光客の移動が活発になり、地域経済の活性化が期待されています。

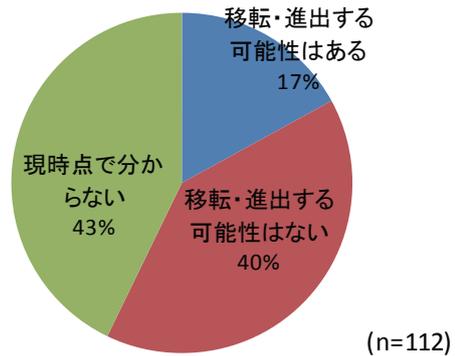
- 鉄軌道沿線への移転・進出意向は、住居、事務所、工場・倉庫、店舗ともに低く、「移転する可能性はない」、「現時点でわからない」という回答が多くなっています。
- 企業などから寄せられた自由回答では、混雑緩和、地域活性化、定時性の向上、商圈の拡大等の効果が期待されています。

■住民の鉄軌道沿線への転居意向



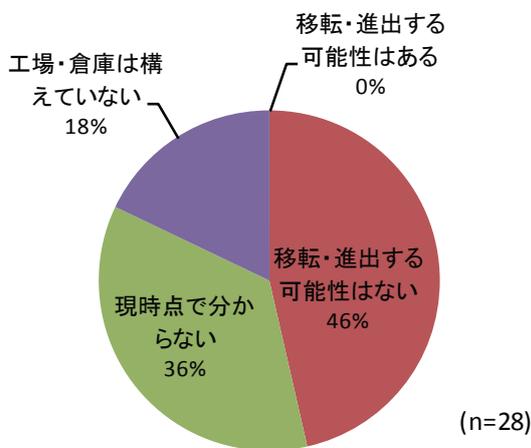
資料：県民調査

■事務所の鉄軌道沿線への移転・進出意向



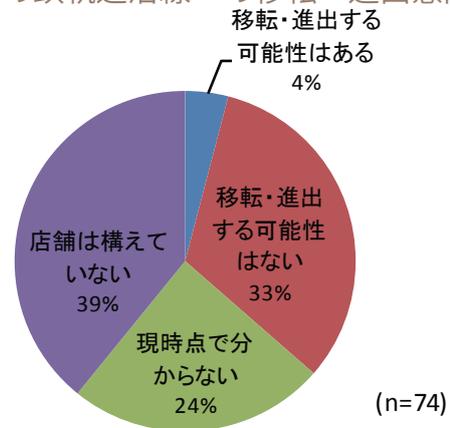
資料：企業調査

■工場・倉庫の鉄軌道沿線への移転・進出意向



資料：企業調査

■店舗の鉄軌道沿線への移転・進出意向



資料：企業調査

- 車の混雑解消、北部の人口・観光客増・活性化。南北間を気軽に往来出来るようになり各地域が活性化されるのではないか。(荷主)
- 定時性、利便性の向上。(運送会社)
- 駅待機場が整備されれば、鉄道利用客のタクシー利用も増えるかなと少しは期待する。(交通事業者)
- 高齢者の移動が活発になり、経済効果が望める！(集客施設)
- 本島全域がひとつの商圈になる。(一般企業)
- 渋滞が減少し、飲酒運転も減少されると思う。(一般企業)

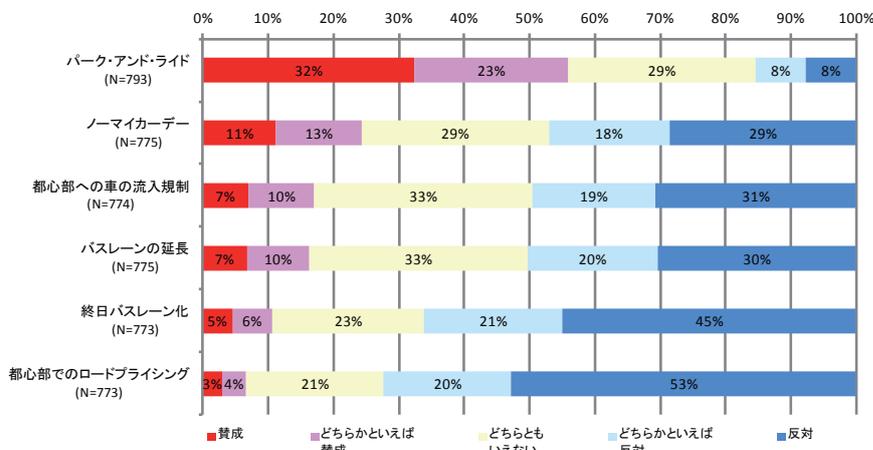
資料：企業調査

5.鉄軌道の利用促進策

鉄軌道の利用促進に向けて非常に重要となる「フィーダー交通」に関して、バス会社は駅から観光客を対象としたバス便の運行に高い関心を持っています。

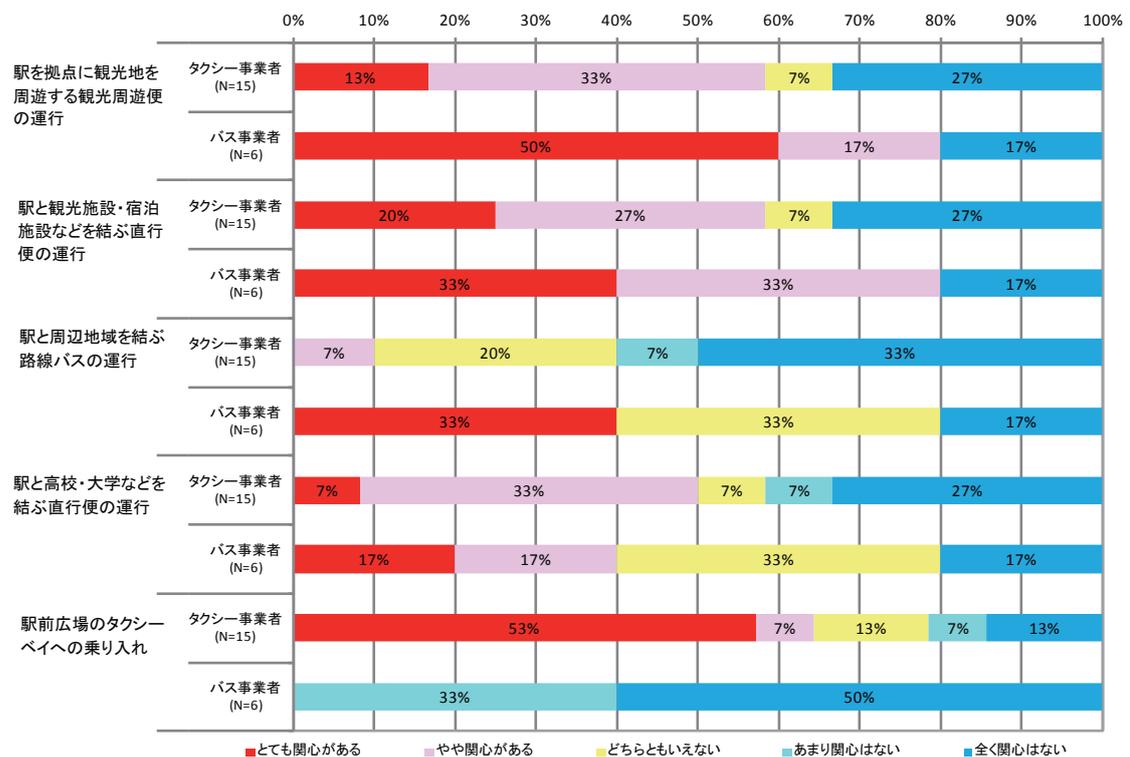
- 鉄軌道利用促進に向けた取り組みの一つとして、自動車利用の抑制策があげられますが、「パーク・アンド・ライド」や「ノーマイカーデー」のような取り組みには賛成する方が多くなっています。
- フィーダー交通に関してバス会社は「駅を拠点に観光地を周遊する観光周遊便の運行」、「駅と観光施設・宿泊施設などを結ぶ直行便の運行」と観光客を対象としたバスの運行に関心が高く、その他では、「駅と周辺地域を結ぶ路線バスの運行」への関心が高くなっています。
- また、タクシー会社は「駅前広場のタクシーベイへの乗り入れ」の他では、「駅と観光施設・宿泊施設などを結ぶ直行便の運行」への関心が高くなっています。

■住民の自動車利用抑制策に対する意向



資料：県民調査

■交通事業者のフィーダー交通運行に対する関心



資料：企業調査

6.自由意見

【鉄軌道のルート・公共交通網に対する要望】

- 主要な公共施設やレジャー施設等と直接接続していないと利用者数はなかなか増加しないと思う。(県民)
- 鉄道を中心にバス・タクシー・モノレールの交通網が整備して欲しい。(県民)
- 観光スポットに駅を作って観光客を乗せてほしい。レンタカーが多くて迷惑していることが多い。(県民)
- 那覇空港を接続線ではなく幹線骨格軸に入れないと、観光客の利便性が悪くなる。大きな荷物を持って乗り継ぎは不便である。(企業・交通事業者)
- 各駅にタクシー乗り場を設置して欲しい。(企業・交通事業者)
- 鉄道とバスの接続を良くする。ICカード乗車券等。(企業・一般企業)
- 鉄道を軸に他の公共交通機関との連携が必要。鉄道沿線のみメリットがある事にとどめず交通網を整備してほしい。(企業・一般企業)
- バスと連携し、駅から離れた場所への観光を便利にして欲しい。(観光・台湾)
- 地下より地上の路線を多く新設して外の景色を楽しめるようにする。(観光・韓国)
- 北部へのアクセスが悪いので、空港～名護～本部町の高速鉄道があるとよいと思う。(観光・日本)

【期待される効果・利用意向】

- 北部から空港まで行ける鉄道等があったら絶対利用します！(県民)
- 渋滞解消に期待。(県民)
- 観光客の動線が変わると思うので期待したいです。(旅行関係)
- 那覇港～北部まで鉄道(コンテナ)があれば利用すると思う。(企業・運送会社)
- 渋滞が緩和されると期待され、集配効率が改善につながる可能性がある。(企業・運送会社)

【早期整備】

- 実現出来ることを期待します。(県民・企業・荷主)

【その他】

- 費用対効果が疑問です。なぜ、整備された道路を掘り起こしてまで建設するのか。モノレールの延長でもよいのでは？(県民)
- 観光客重視ではロケーション、住民重視では利便性の2つの整合性を持って進めて行かないと、鉄道の将来の運営は難しいと感じます。(旅行関係)
- 料金は安いほうがいい。(県民)
- 鉄道は、交通手段の1つで、交通の安全性と料金の安さが大切と思います。(県民)
- 子供たちが線路内に進入できないように整備してほしい。(企業・荷主)
- 観光スポットの景観に悪影響を与えない。環境に優しく。(観光・台湾)
- 案内表示は多言語やピクトグラムを活用して欲しい。(観光・香港)
- 赤字により税負担が将来心配。我々より子供たち。(県民)

お問い合わせ

内閣府政策統括官(沖縄政策担当)

TEL.03-3581-2763

内閣府沖縄総合事務局 総務部調査企画課

TEL.098-866-0047